

- 問1 北緯60度付近の大西洋上に位置する島国であるアイスランドは、高緯度であるにもかかわらず、国土の南部は緯度の割に温暖な気候となっています。このようにアイスランドが比較的温暖である主な理由を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 周辺を流れる寒流の影響により大気が安定し、年間を通じて日照時間が非常に長いため。
  2. 火山活動が活発であり、地熱によって島周辺の海水温と気温が常に上昇しているため
  3. 赤道付近から発生する熱帯低気圧が頻繁に通過し、暖かい空気と大量の雨をもたらすため。
  4. 沖合を流れる暖流である北大西洋海流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。
- 問2 北ヨーロッパのスカンディナビア半島西側に位置し、首都をオスロに置くノルウェーの自然環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. アルプス・ヒマラヤ造山帯に属しており、現在も活発な火山活動によって多くの温泉が湧き出している。
  2. バルト海に面した東側の海岸線は単調であり、冬には海面が完全に凍結するため船舶の航行が困難になる。
  3. 国土の大部分が平坦な低地であり、ステップと呼ばれる樹木の少ない乾燥した草原が広がっている。
  4. 氷河によって削られたU字谷に海水が入り込んで形成された、フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線が見られる。
- 問3 ヨーロッパ南部に位置する険しい山脈は、気候や農業の地域差を生む大きな境界となっています。この山脈の北側では酪農や混合農業が盛んに行われる一方、南側ではオリーブやオレンジなどの栽培が盛んな地中海式農業が営まれています。この農業区分の境界となっている山脈の名称として正しいものを選択してください。 (2015年 鳥取県公立入試 類似)
1. アペニン山脈
  2. アルプス山脈
  3. ピレネー山脈
  4. ウラル山脈
- 問4 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国のうち、1950年代の創設時から参加しているメンバーであり、広大な国土を活かした農業が盛んで、穀物自給率が100%を超える「EU最大の農業国」として知られる国はどこですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. フランス
  2. ベルギー
  3. イタリア
  4. スウェーデン
- 問5 2022年のフランスにおける発電方法別の割合を整理したデータによると、ある発電方法が全発電量の6割を超える圧倒的なシェアを占めています。火力、水力、風力、太陽光といった他の供給量を大きく引き離し、フランスの電力供給の核となっているエネルギー源は何ですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 原子力発電
  2. 火力発電
  3. 地熱発電
  4. 水力発電
- 問6 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国間における、人々の移動に関する仕組みについて適切に説明しているものはどれか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 加盟国間の国境を通過する際、パスポートの提示が必要なくなった。
  2. 加盟国間を移動する際は、自国の身分証明書ではなく、EU共通のパスポートを毎回新規作成しなければならぬ。
  3. 域内の国境を越えて移動する際は、一律に関税を支払う義務が生じた。
  4. すべての加盟国において、共通通貨であるユーロの導入が強制された。
- 問7 ある国の貿易構造について、輸出相手国の第1位がアメリカ合衆国であり、かつ輸出総額の約43%をヨーロッパ連合（EU）加盟国が占めている状況において、この国が2020年にEUから脱退（ブレグジット）した理由として、最も適切な背景はどれか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. EUの共通政策による規制や、加盟国間での移動の自由に伴う移民の増加に対し、自国の主権を回復しようとする動きが高まったため。
  2. 自国通貨のポンドを廃止して共通通貨ユーロを導入することを決定したが、国内の反対派による暴動が起きたため。
  3. アメリカ合衆国との自由貿易協定を優先するため、EU加盟国への輸出割合が1割以下にまで低下したため。
  4. EUからの脱退によって、隣国であるフランスやドイツとのすべての関税を撤廃し、輸出額をさらに増やすことを目的としたため。
- 問8 二〇二二年の主要国の発電事情に関する資料において、総発電電力量が五千七百七十三億キロワット時であり、その内訳が化石燃料四十五・九パーセント、再生可能エネルギー四十一・〇パーセント、原子力が三・〇パーセント以下となっている国があります。比較される主要国の中で再生可能エネルギーの発電割合が最も高いこの国はどこですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. フランス
  2. 日本
  3. ドイツ
  4. アメリカ合衆国
- 問9 ヨーロッパ連合（EU）の統合によって、加盟国間の経済活動にはどのような変化が生じましたか。その仕組みと影響について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. すべての加盟国が共通通貨ユーロを導入したことで、加盟国間の物価が完全に統一された。
  2. 加盟国間での関税が撤廃されたことで、農産物や工業製品の貿易がより盛んになった。
  3. 国境の行き来が厳格に管理されるようになり、域内での無断な労働が禁止された。
  4. 域内の統合が進んだ結果、西ヨーロッパと東ヨーロッパの間の経済格差は完全に解消された。
- 問10 1989年の冷戦終結宣言や1991年のソビエト連邦解体といった国際情勢の大きな変化を経て、ヨーロッパ諸国は経済面だけでなく政治的な統合もさらに深める必要に迫られました。その結果、1993年に発効したある条約に基づいて発足した、現在のヨーロッパの統合組織の名称と、その根拠となった条約の正しい組み合わせを選びなさい。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ連合（EU） — マーストリヒト条約
  2. 国際連合 — 国際連合憲章
  3. ヨーロッパ経済共同体（EEC） — ローマ条約
  4. 北大西洋条約機構（NATO） — 北大西洋条約
- 問11 EU加盟国の経済状況を示した統計データにおいて、2004年以降に加盟した東欧などの国々の一人当たりの国内総生産は、以前からの加盟国であるドイツやフランスなどと比較して低い水準にあります。このような域内の経済的格差がもたらしている現象として、適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. より高い賃金や雇用を求めて、東欧などの新規加盟国から西欧の国々へ労働者が移動している
  2. 経済的格差を解消するため、EU内のすべての加盟国において公用語を一つに統合した
  3. 経済水準が低い国を保護するため、EU加盟国間での農産物の貿易が全面的に禁止された
  4. 賃金の安い労働力を確保するため、西欧の高度な技術を持つ企業が東欧から一斉に撤退している
- 問12 世界各地の森林資源に関する統計において、インドネシアやブラジル、エチオピアなどの国々では森林面積が減少傾向にあります。これに対し、1985年から2011年にかけての統計で森林面積や国土に占める森林の割合が微増しており、国内の針葉樹の伐採量が減少しているヨーロッパの国はどこですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. インドネシア
  2. フランス
  3. ブラジル
  4. エチオピア

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                       |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 4<br>沖合を流れる暖流である北大西洋海流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。                     | アイスランドや北ヨーロッパの西岸は、高緯度にありながら暖流である北大西洋海流の影響を受けています。この暖流の上を吹く偏西風が、暖かく湿った空気を陸地へ運ぶため、同緯度の他の地域に比べて冬の寒さが和らげられ、比較的温暖な気候となります。                                                                                                    |
| 問2  | 答え 4<br>氷河によって削られたU字谷に海水が入り込んで形成された、フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線が見られる。            | ノルウェーはスカンディナ비아半島の西側に位置する国です。かつて大陸を覆っていた氷河が地表を削り、その深い谷に海水が浸入してできたフィヨルドが海岸線の随所に見られます。また、スウェーデンやフィンランドと異なり、大西洋に広く面しているのが地理的な特徴です。                                                                                           |
| 問3  | 答え 2<br>アルプス山脈                                                        | ヨーロッパ南部に連なるアルプス山脈は、気候の境界線としての役割を果たしています。この山脈を境に、北側は比較的冷涼で湿潤な西岸海洋性気候や大陸性気候が広がり、家畜の飼育と穀物栽培を組み合わせた混合農業などが発達しました。一方、南側は夏に乾燥する地中海性気候となるため、乾燥に強い樹木作物であるオリーブや柑橘類の栽培が盛んになっています。                                                  |
| 問4  | 答え 1<br>フランス                                                          | 広大な平原と温暖な気候に恵まれたこの国は、小麦を中心とした大規模な農業を展開しており、EU内で突出した農業生産力を誇ります。1952年の欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）以来の創設メンバーでもあり、EUの中心的な役割を担っています。                                                                                                       |
| 問5  | 答え 1<br>原子力発電                                                         | フランスの電源構成において、原子力発電は62パーセント以上の割合を占める最も主要なエネルギー源です。これは、資源の乏しいフランスがエネルギー供給を安定させるために選択した独自の政策によるものです。地理の統計問題において、発電電力量のうち原子力の割合が極端に高いグラフや記述があれば、それはフランスを指していると判断できるほど大きな特徴となっています。                                          |
| 問6  | 答え 1<br>加盟国間の国境を通過する際、パスポートの提示が必要なくなった。                               | ヨーロッパ連合（EU）は、加盟国間の結びつきを強めるために「人・もの・資本・サービス」の移動を自由化しています。人々の移動に関しては、加盟国の国境を通過する際にパスポートの提示を不要とする仕組みが整えられ、まるで一つの国のように自由に行き来ができるようになりました。関税の撤廃は「もの」の移動に関する内容であり、共通通貨ユーロの導入は「経済・通貨」の統合に関する内容であるため、人々の移動の仕組みとは区別して理解する必要があります。 |
| 問7  | 答え 1<br>EUの共通政策による規制や、加盟国間での移動の自由に伴う移民の増加に対し、自国の主権を回復しようとする動きが高まったため。 | イギリスはEU加盟国として経済的な恩恵を受けていた一方で、EUの法規制が国内政策に及ぼす影響や、東欧などからの移民の流入に対する国民の不満が高まりました。これにより、2016年の国民投票を経て、自国の裁量を広げるためにEUを離脱する道を選びました。離脱後も、地理的な要因からEU諸国は依然として最大の貿易相手ブロックとなっています。                                                   |
| 問8  | 答え 3<br>ドイツ                                                           | ドイツは「エネルギー転換（エネルギーヴェンデ）」を国策として掲げ、風力や太陽光などの再生可能エネルギーの導入を強力に進めてきました。その結果、主要国の中でも再生可能エネルギーの発電割合が極めて高い水準にあります。一方、フランスは原子力発電の割合が非常に高く、アメリカ合衆国は総発電電力量が桁違いに大きいという特徴があります。                                                       |
| 問9  | 答え 2<br>加盟国間での関税が撤廃されたことで、農産物や工業製品の貿易がより盛んになった。                       | EU（ヨーロッパ連合）では、域内を一つの大きな市場とみなすために、加盟国間で取引される商品にかかる関税を撤廃しています。これにより、農産物や工業製品の流通コストが下がり、貿易が活性化しました。なお、共通通貨ユーロの導入は一部の加盟国にとどまっているほか、加盟国間の経済格差は現在もEUが抱える大きな課題の一つです。                                                            |
| 問10 | 答え 1<br>ヨーロッパ連合（EU） — マーストリヒト条約                                       | 第二次世界大戦後の冷戦構造が崩壊したことで、ヨーロッパでは市場の統合のみならず、共通の外交・安全保障政策や市民権の導入といった政治的な統合を目指す動きが強まりました。1993年にマーストリヒト条約が発効したことにより、これまでの協力枠組みを発展させる形でヨーロッパ連合（EU）が正式に設立されました。                                                                   |
| 問11 | 答え 1<br>より高い賃金や雇用を求めて、東欧などの新規加盟国から西欧の国々へ労働者が移動している                    | EU内では「人・物・資本・サービス」の移動が自由化されているため、経済的格差がある場合、労働者はより良い生活条件を求めて経済水準の高い国へと移動します。一方で、西欧の企業が安価な労働力を求めて東欧に工場を移転させる動きもあり、これらはEU内の経済的一体化を進める側面と、特定の国での失業や人手不足を招く課題の両面を持っています。                                                     |
| 問12 | 答え 2<br>フランス                                                          | ブラジルやインドネシアなどの熱帯地域では、農地開発や木材輸出のために森林面積が減少していることが大きな課題となっています。一方でフランスは、古くから国土利用に関する法整備を進めてきた結果、森林面積や国土に占める森林割合がわずかに増加しており、針葉樹の伐採量を抑えるなどの資源管理が行われています。これは、急速な森林減少に直面している開発途上国とは対照的な動向です。                                   |